

一般質問の要旨



観光事業について

稲浦 巖

問 日高市は首都圏50km圏内にあり、観光事業に適した自然環境と景観、歴史・文化資源に恵まれ、春夏秋冬に応じた観光が楽しめる地域であり、巾着田・日和田山地域を中心とし、高麗神社を始めとした歴史遺産を活用した観光事業を実施している。市が関与する観光事業の実績と経済的効果は、

答 市の観光入込客数は平成30年に約402万人、その後コロナウイルス感染症の影響で令和2年に約280万人となつている。また、市が直接関与する観光施設である巾着田、高麗郷古民家、市のイベントである市民まつりの合計客数は、令和元年が約72万人、その後コロナ感染症の影響で令和2年が約24万人に激減している。

問 日高市は首都圏50km圏内にあり、観光事業に適した自然環境と景観、歴史・文化資源に恵まれ、春夏秋冬に応じた観光が楽しめる地域であり、巾着田・日和田山地域を中心とし、高麗神社を始めとした歴史遺産を活用した観光事業を実施している。市が関与する観光事業の実績と経済的効果は、

答 市内に宿泊施設がないことは長年の懸案事項で、現在でも計画はない



巾着田から見た日和田山

問 当たりの観光消費額が期待できないのが現状で、今後、食や土産品の充実、新たな体験型の観光に取り組む。観光客一人ひとりの消費を拡大させ、地域全体に循環させる仕組みを構築し、地域経済の活性化に結び付けることを検討している。

問 道の駅のような地元物産の販売等をする施設誘致についての考えは、

問 身体障がい児が利用できる放課後等デイサービスが少ない中、市の事業である日中一時支援が受け皿となつている。しかし日中一時支援の報酬単価は非常に低く、本市は送迎加算を付けていないため、事業者は採算がとれない。身体障がい児の日中活動の保障のために、近隣市町のように送迎加算を付けられないか、

問 日高市消費者安全確保地域協議会の役割は、

問 取り組みの進捗は、

問 市の消費生活相談における相談の傾向は、

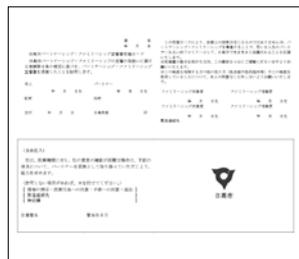
問 宣誓を行うことにより利用可能となる公的サービスは、

問 期日前投票所を増設する考えは、



身体障がい児の日中活動の保障について

田中 まどか



宣誓書受領カード